



2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月5日

上場会社名 イサム塗料株式会社

上場取引所 東

コード番号 4624 URL <http://www.isamu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北村 倍章

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 糸洲 治夫

TEL 06-6453-4511

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

2021年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	3,656	3.9	294	12.3	350	5.4	241	6.6
2021年3月期第2四半期	3,518	8.2	262	27.9	332	23.6	258	16.1

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 241百万円 (26.7%) 2021年3月期第2四半期 328百万円 (10.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	126.55	
2021年3月期第2四半期	135.53	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	19,153	16,021	81.6	8,194.24
2021年3月期	18,941	15,830	81.5	8,096.16

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 15,621百万円 2021年3月期 15,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		25.00		25.00	50.00
2022年3月期		25.00			
2022年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	2.2	550	4.4	670	4.5	460	9.7	241.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	2,400,000 株	2021年3月期	2,400,000 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	493,687 株	2021年3月期	493,647 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	1,906,333 株	2021年3月期2Q	1,906,481 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項につきましては添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大やそれに伴う政府や各地方自治体の要請等に企業としての対応が必要とされる厳しい状況にあり、3度目の緊急事態宣言が発出されながらも、感染症対策と経済活動の両立を目指す中、企業収益は依然厳しさは残りつつ、一部には改善の動きがみられます。個人消費はサービスを中心に弱い動きになっているものの、設備投資に持ち直しの動きがみられ、雇用情勢は依然として弱い動きとなる中で、雇用者数等の動きに底堅さもみられます。一方で世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられます。わが国においては、コロナワクチンの接種効果、治療薬の開発・普及、医療体制の充実により景気が持ち直していくことが期待されつつも、新型コロナウイルス感染症再拡大や原油価格の動向など、当社グループを取り巻く環境は予断を許さない状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは一定の需要に応えるべく事業活動を継続し、自動車補修用市場でのシェアの拡大を図るため、顧客ニーズに沿った環境対応型塗料や高機能性塗料で販路拡大に注力するとともに、大型車両分野や工業用分野などの新規市場開拓や建築用塗料の受注拡大に向け、営業活動を展開いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、36億56百万円（前年同四半期比3.9%増加）となりました。また、利益面におきましては、営業利益は2億94百万円（前年同四半期比12.3%増加）、経常利益は3億50百万円（前年同四半期比5.4%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億41百万円（前年同四半期比6.6%減少）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①塗料事業

売上高は36億6百万円（前年同四半期比4.0%増加）、営業利益は2億77百万円（前年同四半期比15.4%増加）であります。

②その他

売上高は50百万円（前年同四半期比1.3%減少）、営業利益は17百万円（前年同四半期比22.2%減少）であります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、資産は2億12百万円増加、負債は22百万円の増加、純資産は1億90百万円増加しました。

資産の増加の主なものは、有価証券3億1百万円、現金及び預金80百万円、減少の主なものは投資有価証券4億16百万円であります。

負債の増加の主な要因は、支払手形及び買掛金65百万円、電子記録債務42百万円、減少の主なものは未払金48百万円であります。

また、純資産の増加の主な要因は、利益剰余金1億94百万円となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3億80百万円増加し、35億64百万円（前年同四半期末35億32百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、1億98百万円（前年同四半期2億29百万円）となりました。

その主な要因は、増加した資金では税金等調整前四半期純利益3億50百万円、仕入債務の増加1億72百万円、減少した資金では売上債権の増加1億58百万円、法人税等の支払額1億28百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は、2億37百万円（前年同四半期7億22百万円）となりました。

その主な要因は、増加した資金では定期預金の払戻による収入3億円、有価証券の償還による収入3億円、投資有価証券の売却及び償還による収入2億円、減少した資金では、投資有価証券の取得による支出4億円、有形固定資産の取得による支出2億5百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、55百万円（前年同四半期55百万円）となりました。

その主な要因は、配当金の支払額48百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月10日の決算発表日に公表しました前回予想に変更はありません。

なお、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,493,271	5,573,666
受取手形及び売掛金	2,043,022	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	2,201,144
有価証券	1,501,337	1,802,746
商品及び製品	859,256	876,329
仕掛品	128,700	139,382
原材料及び貯蔵品	209,666	221,583
その他	30,259	99,060
貸倒引当金	△8,328	△6,814
流動資産合計	10,257,183	10,907,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,842,488	2,933,838
減価償却累計額	△1,808,918	△1,841,421
建物及び構築物(純額)	1,033,570	1,092,417
機械及び装置	660,070	661,939
減価償却累計額	△494,400	△515,916
機械及び装置(純額)	165,670	146,023
工具、器具及び備品	497,699	506,150
減価償却累計額	△391,929	△405,660
工具、器具及び備品(純額)	105,770	100,490
土地	1,344,467	1,344,467
リース資産	79,554	79,554
減価償却累計額	△57,555	△61,572
リース資産(純額)	21,999	17,982
建設仮勘定	—	1,682
有形固定資産合計	2,671,476	2,703,061
無形固定資産		
ソフトウェア	29,690	25,874
施設利用権	456	399
電話加入権	6,555	6,555
無形固定資産合計	36,701	32,828
投資その他の資産		
投資有価証券	4,059,245	3,643,679
長期預金	1,200,000	1,200,000
保険積立金	477,356	442,487
繰延税金資産	208,850	193,149
その他	32,457	33,307
貸倒引当金	△2,251	△2,251
投資その他の資産合計	5,975,657	5,510,371
固定資産合計	8,683,834	8,246,260
資産合計	18,941,017	19,153,356

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	362,691	427,525
電子記録債務	1,148,550	1,190,169
リース債務	8,603	6,900
未払金	203,164	155,445
未払法人税等	137,771	106,759
未払消費税等	24,911	40,734
前受金	4,280	4,249
預り金	74,178	77,690
賞与引当金	112,348	107,195
その他	41,806	41,530
流動負債合計	2,118,302	2,158,196
固定負債		
長期預り保証金	265,239	267,064
リース債務	15,535	12,865
繰延税金負債	61,592	47,330
役員退職慰労引当金	80,518	88,069
修繕引当金	97,500	101,250
退職給付に係る負債	471,864	457,692
固定負債合計	992,248	974,270
負債合計	3,110,550	3,132,466
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,210,130	1,210,130
利益剰余金	13,635,586	13,829,183
自己株式	△982,207	△982,342
株主資本合計	15,153,909	15,347,371
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	280,221	273,410
その他の包括利益累計額合計	280,221	273,410
非支配株主持分	396,337	400,109
純資産合計	15,830,467	16,020,890
負債純資産合計	18,941,017	19,153,356

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	3,517,891	3,655,773
売上原価	2,425,159	2,527,424
売上総利益	1,092,732	1,128,349
販売費及び一般管理費	830,693	834,040
営業利益	262,039	294,309
営業外収益		
受取利息	181	100
有価証券利息	8,655	6,094
受取配当金	9,475	10,340
受取賃貸料	25,701	26,219
塗装情報サービス会費	11,290	—
貸倒引当金戻入額	6,494	1,514
その他	10,400	16,086
営業外収益合計	72,196	60,353
営業外費用		
支払利息	74	74
支払補償費	278	3,993
棚卸資産廃棄損	230	—
その他	1,532	564
営業外費用合計	2,114	4,631
経常利益	332,121	350,031
特別利益		
投資有価証券売却益	45,915	—
特別利益合計	45,915	—
税金等調整前四半期純利益	378,036	350,031
法人税、住民税及び事業税	110,889	95,741
法人税等調整額	957	6,813
法人税等合計	111,846	102,554
四半期純利益	266,190	247,477
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,814	6,222
親会社株主に帰属する四半期純利益	258,376	241,255

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	266,190	247,477
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61,955	△6,814
その他の包括利益合計	61,955	△6,814
四半期包括利益	328,145	240,663
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	320,317	234,444
非支配株主に係る四半期包括利益	7,828	6,219

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	378,036	350,031
減価償却費	64,617	80,745
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△911	△5,153
修繕引当金の増減額 (△は減少)	3,750	3,750
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7,021	△1,514
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2,315	7,552
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△10,802	△14,172
受取利息及び受取配当金	△18,311	△16,534
支払利息	74	74
投資有価証券売却損益 (△は益)	△45,915	—
棚卸資産廃棄損	230	—
売上債権の増減額 (△は増加)	58,512	△158,122
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△8,016	△39,671
仕入債務の増減額 (△は減少)	△114,346	171,812
未払金の増減額 (△は減少)	△5,035	△15,394
未払消費税等の増減額 (△は減少)	10,555	15,822
その他	△15,836	△76,055
小計	287,266	303,171
利息及び配当金の受取額	22,820	22,360
利息の支払額	△74	△74
法人税等の支払額	△80,998	△127,830
営業活動によるキャッシュ・フロー	229,014	197,627
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	300,000
有価証券の取得による支出	△300,000	—
有価証券の償還による収入	500,000	300,000
有形固定資産の取得による支出	△70,436	△205,004
無形固定資産の取得による支出	△29,197	△1,150
投資有価証券の取得による支出	△298	△400,298
投資有価証券の売却及び償還による収入	549,541	200,000
保険積立金の積立による支出	△18,462	△16,309
保険積立金の払戻による収入	90,000	60,000
その他	541	130
投資活動によるキャッシュ・フロー	721,689	237,369
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額 (△は増加)	△114	△135
リース債務の返済による支出	△4,633	△4,374
配当金の支払額	△47,935	△47,645
非支配株主への配当金の支払額	△2,447	△2,447
財務活動によるキャッシュ・フロー	△55,129	△54,601
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	895,574	380,395
現金及び現金同等物の期首残高	2,635,938	3,183,271
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,531,512	3,563,666

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した地点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来は販売奨励金等の確定額のみを売上高から控除しておりましたが、販売奨励金等の見込額を確定額に加えて売上高より控除しております。また、有償支給取引において、従来は支給品の譲渡に係る収益を認識しておりましたが、当該収益を認識しない方法に変更しております。さらに、営業外収益として計上しておりました塗装情報サービス会費を売上高として認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は162,866千円減少し、売上原価は181,956千円減少し、営業利益は19,090千円増加、営業外収益は29,538千円減少し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ10,448千円減少しております。また、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	塗料事業				
売上高					
外部顧客への売上高	3,466,963	50,928	3,517,891	—	3,517,891
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,466,963	50,928	3,517,891	—	3,517,891
セグメント利益	240,307	21,732	262,039	—	262,039

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	塗料事業				
売上高					
外部顧客への売上高	3,605,500	50,273	3,655,773	—	3,655,773
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,605,500	50,273	3,655,773	—	3,655,773
セグメント利益	277,398	16,911	294,309	—	294,309

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の塗料事業の売上高は162,866千円減少し、セグメント利益は19,090千円増加しております。